

さいたま市長 清水勇人 様

新型コロナウイルス対策に関する緊急要望

令和2年5月12日

公明党さいたま市議会議員団

団長 上三信 彰

新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、市民生活と企業活動は日を追うごとに厳しさを増しています。政府が4日、緊急事態宣言の期限を今月末まで延長するなど、社会の先行きは不透明となっています。市民への感染・死者も相次ぐ中、市民の危機感が高まっており、本市として、さらに有効かつ迅速な対策の実行が急務です。

そこで、公明党さいたま市議会議員団は、コロナに打ち克つための3本の柱となる緊急対策を要望します。市の施策に速やかに反映し、市民や企業にエールを送っていただくことを強く要望いたします。

1、「医療・命を守る！」

- 1、 医療従事者の不安解消のためホテルを確保
- 2、 保育所や学校の再開を見据え、子どもが感染した際に親子で療養できる体制を整備
するとともに、ひとり親世帯の療養体制も支援
- 3、 新型コロナウイルス対策推進義援金の受け皿を創設

2、「街の活力を守る！」

- 1、 小規模事業者等の事業継続を支援するため一律10万円を給付
- 2、 債務返済の繰り延べ制度を創設

3、「市民の暮らしを守る！」

- 1、 特別定額給付金のスピード支給
- 2、 児童扶養手当への子ども一人当たり3万円を臨時給付